



大和庁舎で、増淵ご夫妻から飯島副市長（写真右）に、真壁の町並みの復興に役立ててほしいと寄付金が渡されました。

### 故郷・真壁の町並みの復興に 一千万円の寄付

真壁地区を故郷に持つ増淵ご夫妻（茂磨氏（筑波ダイカスト工業（株）会長／本社：東京都板橋区）から、一千万円の寄付がありました。これは、今回の震災で、国の重要伝統的建造物保存地区に選定された真壁地区の町並みが受けた被害を新聞などで知った同氏から寄付されたもので、「真壁は、私が育った故郷です。真壁の伝統的町並みの一刻も早い復興に役立ててください。」と、増淵さんは話していました。

### 真壁石材協同組合が 石燈籠の火袋を寄贈

真壁石材協同組合は、茨城ふるさと百景を記念して作られた石燈籠に火袋を寄贈しました。

この石燈籠は、りんりんロード真壁駅に設置されており、しばらくの間火袋が無くなったまま放置されていました。

「石の町として、火袋の無い石燈籠を放置してはおけない。」と、真壁の伝統工芸士たちの声で修復が実現しました。

火袋の製作は、同組合が実施する「伝統工芸士等担い手確保事業」の一環として、若手職人の指導・技能継承を図るため実施されたものです。



火袋を製作した有山実さん（前段左）と指導した加藤幸彦さん（前段右）、写真の右端が火袋が入った石燈籠

### 樺穂小学校の3年生 茶道で日本文化を学ぶ

今年3月、樺穂小学校の3年生が、在校生祖母の平間信子さんから茶道を教えていただきました。

児童たちは、おもてなしの心や思いやりの心を大切にする茶道を通し、日本文化のすばらしさに触れることができました。

児童たちは、初めての体験に少し緊張しながらも、抹茶とお菓子を味わい、和の間を楽しみました。

3学年担任の早瀬先生は、「未来を担う子どもたちには、日本人として誇りをもち、この素晴らしい文化を受け継いでいってほしい。」と話していました。



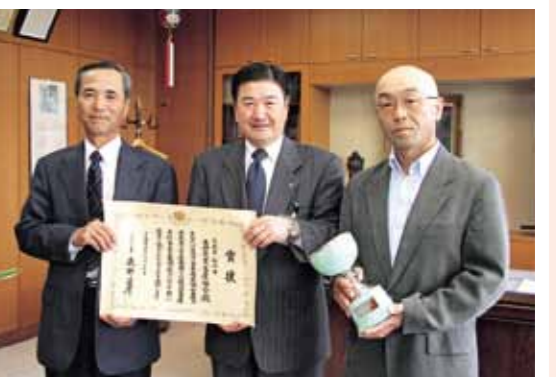
抹茶の飲み方を教わる児童たち。写真右手前が平間信子さん

### 竜神農業生産組合が 農林水産大臣賞

（社）日本蕎麦協会主催の平成22年度全国そば優良生産事業の表彰式が東京都内で行われ、本市の竜神農業生産組合（入野修代表）が集団の部で農林水産大臣賞を受賞しました。

本表彰は、蕎麦の生産技術の向上や経営改善の創意工夫により他の農家の模範となる個人および団体が表彰されています。

同組合は、茨城県が育成した「常陸秋そば」を24ヘクタール栽培しており、種子の更新や大麦、葉タバコの2年3作の輪作体系により畑の有効利用を行うなどして品質の良い蕎麦を生産しています。



農林水産大臣表彰を受けた竜神農業生産組合の入野修さん（写真左）と小松崎弘光さん（写真右）

### （株）常陽銀行から 新入学児童に防犯ブザー寄贈

昨年に引き続き、市内11校の小学校の新入学児童394人に、（株）常陽銀行から防犯ブザーの寄贈がありました。

これは、同銀行の地域貢献活動の一環として、平成17年の70周年を記念に始められたもので、今年で7度目となります。「様々な防犯対策が叫ばれる中、安心して生活できる地域社会づくりに貢献したいという従業員の願いと、児童一人ひとりの防犯意識の向上につながれば、という思いから寄贈させていただきました。」と、同銀行真壁支店秋永副支店長は話していました。



（株）常陽銀行真壁支店 秋永副支店長（写真左）から石川教育長（写真右）に、可愛い犬の形の防犯ブザーが手渡されました。

### 結城信用金庫が エコクリン定期預金で寄付

結城信用金庫（長沢廣理事長）から、環境保全などを目的にした活動に役立ててくださいと、5万円の寄付がありました。

これは、同信用金庫が環境保全に興味のある皆さんにエコクリン定期預金の募集をしたところ、多くの方が当定期預金の趣旨に理解をいただき、目標額を達成ができたことから、寄付されたものです。

中田市長は、「今後の市の環境保全のため有効に活用させていただきます。」と話していました。



結城信用金庫の片井猛理事（写真左）が市役所を訪れ、中田市長に寄付が手渡されました。

### 真壁の“花咲か爺さん” 県知事から感謝状

真壁の“花咲か爺さん”こと上野清さん（真壁町飯塚地区68歳）に県知事から感謝状と記念品が贈呈されました。

これは、同氏が毎年真壁のひなまつり期間中、真壁の街並みを花で飾る活動に尽力し、県の観光振興にも大きく貢献されたことが認められたものです。

同氏は自分で調達した竹を加工し花立てを製作。そこに梅や柳などの花木を飾り付け、ひなまつり会場の各家庭に毎年無料で配付しており、「これからも地域の方や来訪者に喜んでいただけるよう続けていきます。」と話していました。



ひなまつり期間中に長年続けてきた花を飾る活動が認められ県知事から感謝状を受けた上野清さん

### 大山一男さんが手作り行燈で ひなまつりとコラボ

岩瀬地区の大山一男さんが、鳥かごをアレンジした手作りの行燈を、真壁のまちづくり団体「真壁、八七咲き社」に、寄付されました。

これは、真壁のひなまつりに大山さんの行燈をぜひ飾りたいと、真壁、八七咲き社から、依頼を受けた大山さんが、「まちづくりに役立つならば、喜んで協力します。」と、実現したものです。

寄付された行燈は、真壁のひなまつり期間中に川島書店見世蔵に飾られ、やさしい温かみのある明かりで、ひな人形を照らし見物人の方たちを魅了しました。



側面には、「和の風・和の心」、裏面には、「夢」と書かれた行燈を持つ大山さん